

林岫煩遊

報恩講 法要

十一月三日（火）

午後一時より

読経
法話
おとぎ

報恩講は年内最後の法要で
す

宗祖親鸞聖人のご遺徳を
たたえ

ほとけと成られた故人に

今年一年を報告し、見護つて下
さった事に、また尊い仏縁を下
さっている事に感謝する

法要です

どうか万象繰り合わせのう
えご参詣下さい

あー、今年も、もう報恩講か。「も」、ということは随分前から毎年報恩講が近づくとおもっていたんだな。特にここ何年か光陰矢の如しと例えられるのも実感される。齡をとるってこう言うことなのね。

報恩講は親鸞聖人のご命日の法要に端を発します。そして念仏の教えをこの私に伝え、今、念仏称える身としてくださった親や妻や子、祖父母、先達の遺徳に感謝する法要です。

「念仏称える身」そんなことが何の役に立つの？と思われることもあるでしょう。

安心してください。称えていればそのうち解ります無責任なようですがそういうものです。「念仏称える身」はお浄土に仏として生まれる身です。

称えていなければいつまでたっても解りません
それでは買わなきゃ当たらない宝くじと同じじゃないと

思われるかもしれませんが

ご安心ください。宝くじは、買ってもなぜか当たりませんが、お念仏にハズレは有りません。

何故そんなことが言えるのか。何故なら私は父や祖母、また子供のころから可愛がって下さり、お育てをいただいた同行ご先達を何の疑いもなくお浄土の仏として手を合わせていますし、いずれ、仲間に入れてもらうつもりでいます。それを当たり前と思える道筋を作って下さった事に正に感謝するのです。だから生きてる間はこうした方がいい、こうした方がいい、ああしたらいいと迷い続けて行けます。先人が言っています「あれこれ考えて苦悩するのだが、なるように成るようになるようにしか成らない
成っているところを全力で生きる」

グリーフケアの会「微妙音」

～『歎異抄』を手掛かりに自分に出遭う～

日 時 平成28年は2月より開催
毎月5日 午後7時～
(1月・10月はお休みいたします)

場 所 順正寺本堂

・『歎異抄』を一緒に読んで、感じたことを話したり、実生活で感じていることを話しましょう。
・時間に余裕がある方は、終了後、たまには一緒にお酒でも飲みに行きましょう。(By 副住職)

* 尚、本年(平成27年)最後のグリーフケアの会は、11月28日(土)午後2時より、通常通り開催いたします。

『歎異抄(たんにしよう)』を一緒に読みましょう!

「善人なおもて往生をとぐいわんや悪人をや」という一節で有名な『歎異抄(たんにしよう)』は、親鸞聖人の弟子、唯円(ゆいえん)が、親鸞聖人が亡くなったあと、自らも含め、親鸞聖人が残したお釈迦様の教え(浄土の真宗)から皆が逸脱している現状を嘆(なげ)き、師匠である親鸞聖人の言葉を改めていただき、自身の信を問うために書いたと言われている。

います。ここに出てくる言葉は、私たちの生活において当たり前となっている価値観をものの見事に打ち砕いてくれます。そして自分というものを考えさせてくださいます。私自身も、いま改めて、じっくりと『歎異抄』を読んでみたい、味わってみたいと感じています。

そこで、来年より、今まで進めてきました「グリーフケアの会「微妙音」」の進め方を少し変えてみようと思います。皆さんと一緒に、この『歎異抄』という本をゆっくりと読み進めながら、それを手掛かりとして、自分を探る、そんな会にしていきたいと思っています。

もちろん、今まで通り、ご自身のことを語っていただく時間と空間作りは大事にします。ただその時に、『歎異抄』という本の言葉が、ご自身を語る、味わう手掛かりになればと思っています。

また、今回、『歎異抄』を手掛かりに、自らを見つめていく、自らに出遭っていくこの時間を、是非、若い皆さん、20代、30代の皆さんに共有してもらえたらと思います。

多感な若い人にこそ、是非とも『歎異抄』を読んで、感じてもらいたいです。自分が持っている価値観が、社会通念と言われる価値観が、いかにもろく、いかに曖昧なものであるかを感じるきっかけになると思います。

「こー読んだいた皆様には、お子さんやお孫さんにも、是非、この会があることをお伝えいただければ幸甚に存じます。」

私たちの宗派ではお焼香の時にお香は「二回」火にくべます。色々な謂れはありますが焼香は「お浄土の香り」を頂く事が本来の意味合いです。先日テレビを見ていたら「仏教の葬儀に参列する時の常識」なんてクイズがあり礼儀作法の先生が出てき常識的な事として十カ条を挙げていました。私の場合半分以上間違っていましたので立派な非常識人です。何しろその十カ条は全部、仏教の教義とは係わりの無いものだったのです。ほぼギャグです。先に書いた「お焼香」はお香を2本指でつまんではいけないそうです。確かに指二本ではつまみにくい、でもそう言う理由ではなく「2」とか「4」とか割り切れる数字は「別れる」「はなれる」に通じるから冠婚葬祭には使ってはいけないらしい？迷信を通り越しダジャレ、語呂合わせだろ。フワイ、ジャパニーズピープル 真宗では焼香は「2回」だぜ。どうしてくれるんだ。むしろ、作法でいえば終わったら次の人が快く焼香できるようにつまんでぐしゃぐしゃになっているお香を綺麗に馴らすことの方が大事です。

また、席順や焼香の順番で「どうぞ、どうぞ」の譲り合いも度が過ぎればダチヨウ倶楽部のギャグです。そこには「気配りができる人」「謙虚な人」に見られたい虚栄心が出まくりです。仏教ではそんな心を「卑下慢」と言って慢心の一つとしています。いずれにしても「何をしにここへ来たのか」

という本質を忘れ、行き過ぎれば「お笑い」になってしまいます。

住職からのお願い

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。その為ご法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることが有ります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとって一生の一大事です。そこは相身互い、どうかご寛恕下さいますようお願い申し上げます。

定例行事

聞法会 毎月2日 午後七時より

現在、鉛筆写経と法話、座談会やっています

グリーンフケアの会「微妙音」

十一月二十八日 午後二時より

白色白光の会（婦人会） 毎月第二木曜

お経の練習と法話と茶話会です

照久山順正寺
練身石神井町の1794
03、3996・2064

馬鹿門洞 ^{はかもんどう} (仮称)

オープンのお知らせ

私はまったく思ったこともなかったが、昔から

「ここは、落ち着きますね」「なにか安心できますね」

と言われる事が多々ある。そうなのかな？と不思議に思う。

世間一般がイメージするお寺とは程遠いお寺が順正寺

本堂は狭い、客殿があるわけじゃなし、まして枯山水の庭なんて有りはしない。

でもこんな空間でも喜んでくださる方がいらっしゃるなら
とことん落ち着いてまったりしてもらいましょう。

そんなわけで月に2回ほどお寺を開放します。

開放、開いて放っとくなので一切お構いはしません。(お茶ぐらい
は用意しときます。無論セルフサービスですが。住職、副住職が
ひまな時は相談事承ります。《要件によってひまじゃなくなりますのでご注
意ください。)

どうぞご自由に無為に過ごしてください。

日ごろ「何かの為」とか「誰かの為」に追われる毎日、何の為に
もならない時間、しいて言えば自分の為だけの時間を持つてみる
のも良いかもしれません。

来年2月ごろにオープン予定、また寺報にてお知らせいたします。

照久会 浄土真宗はじめて講座

私たちの宗派「浄土真宗」って何？

「お寺」って何するところ？

「お経」って何が書いてあるの？

ご法事や法要でお寺にお参りするけど、なんとなく解ってるように本当はよくわからないって事ありませんか？

そんなあなたにお勧めの講座を開設します。

ただし、講座と言ってもお話を聞くだけではすぐ忘れてしまう、そんなあなたにも朗報です。法話の後には質疑応答の時間「座談会」を設けます。お茶でも飲みながらなんでも質問し、忌憚なくお話してください。質問しなくてもほかの人の話を聞くだけでも相当為になります。

講師には長年白光会（婦人会）で講話を頂いてる上野 聞成寺の住職 佐竹貫裕師をお招きします。師は上智大学で心理学を学んだ変わり種。オーソドックスな真宗のお話しとはまた一味も二味も違う幅広いお話をしてくれます。（講話を 1 時間くらい、その後座談会 1 時間ほどの予定。お勤め（お経）を含めなんだかんだで 3 時間ほどの時間です。

日時 2 月、4 月、6 月、10 月、12 月の第 2 土曜 午後 2 時

参加費 照久会会員（ご家族、ご友人を含む）は 1000 円

会員以外の方は 2000 円です。（会員の方は必ず会員証をお持ちください）

*座談会の都合で 15 名定員で行う予定です。必ず申込書にてお申し込みください。（手渡し、郵送、ファックス）

申し込み書

お名前

ご住所